

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

平成30年11月号 No.138

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

第53回全国木材産業振興大会開催

“木をつなぐ～神々の時代から、現在(いま)、そして未来へ～”

平成30年10月18日(木)(一社)全国木材組合連合会、全国木材協同組合連合会の主催により、(一社)全国木材組合連合会中国支部が大会担当として、広島県 広島国際会議場において来賓、会員等約750名の出席を得て開催された。

大会第1部大会議事において鈴木和雄全木連会長の挨拶の後、来賓の祝辞があり、大会宣言決議(下記)が発表され、満場一致で決議された。

引き続き第2部では記念講演として、出雲大社権宮司 千家和比古氏による「高大な木造り神殿～出雲大社をめぐる“なるほど”探訪」の演題で講演会が行われた。

その後第3部では、表彰式が行われ、本県からは林野庁長官賞に丹羽耕太郎名古屋木材組合副組合長を始め、7名が受賞された。(下記受賞者名簿のとおり)その後、多数のご来賓のご出席の下、懇親会が盛況に開催された。



記

1. 大会受賞者(本県分)

林野庁長官賞	丹羽耕太郎	名古屋木材組合副組合長
全木連会長賞	岩瀬寿二	豊川木材組合組合長
	青山則康	岡崎木材組合理事
	中山幸雄	海部木材組合副組合長
	鈴木親治	知多木材組合副組合長
全木協連会長賞	田中利明	新城製材協同組合副会長
	阿知波清久	愛知県木材買方協同組合副理事長

2. 大会宣言

木材の利用の拡大は、森林・林業の活性化のみならず地球温暖化の防止、地域経済の活性化などを通じ、豊かな暮らしや低炭素社会の実現に大きく貢献するものであり、森林資源が充実しつつある中、「伐って、使って、植えて、育てる」という資源の循環利用の確立が重要である。

全国各地で木造の公共施設等が数多く建設されるようになり、都市部の建築物の木造化・木質化が大きく進み始めようとしている。これは木材を優先して活用する‘ウッドファースト社会’の実現に向けて、政府、与党、経済界に訴えてきた我々の活動の成果と認識している。

今後とも、戦後続いてきた木材から非木材への流れを変え、木材の復権を確実なものにするため、安全・安心な木材の安定供給体制の構築とともに、これまであまり木材の活用がなされてこなかった分野での木材利用拡大や山元に利益を還元するための仕組み作りに木材産業自らが率先して取り組み、消費者・ユーザーの協力を得ていくことが重要である。

そのため、次の事項について経済界など多様な関係者の連携の下に英知を結集して行動する。

1. 都市部などでの木材利用の大幅な拡大のため、法律・制度の見直し等抜本的対策の実現に取り組む。
2. 森林資源の循環利用を実現するため、森林環境譲与税等も活用し、山元に利益を還元できる体制の構築に森林・林業団体と一体となって取り組む。
3. 木材産業振興のため、予算の確保、税制措置の継続に取り組む。
4. 新たな木材需要を創出するため、技術開発・普及等に取り組む。
5. 合法木材、JAS製品等、品質・性能の確かな木材供給や人材の育成確保に取り組む。

平成30年10月18日
第53回全国木材産業振興大会

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

今年 は 西部 木材 港開港 50 周年

4

名古屋西部木材港開港50周年記念祝賀会 新しい希望、新しい責任の追求を

名古屋港木材産業協同組合
理事長 嶺 木 昌 行

本日は名古屋西部木材港開港50周年のお祝い
に際し、お忙しいところをお集まりいただき、厚く
御礼申し上げます。

西部木材港は今から50年前、昭和43年に開港し
ておりますが、それは私の父たちの時代のことで
した。当時、父たちは希望を持って木材業を営ん
でおりましたが、それから20年ほど経ち私たちの
時代になりますと、木材業は急速に衰退してまい
りました。木材業界はいち早く市場縮小に陥り、
企業の廃業・倒産が多く発生し、開港当時200社
以上あった組合員の木材業者も今では68社と1/3にまで縮小いたしております。



しかし、新しい希望がないわけではありません。木材業の復活・復権という希望であり
ます。現在アベノミクスによって辛うじて日本の景気が支えられていることは皆さん
ご承知の通りですが、それもオリンピックまで。オリンピックの終わる2021年以降は余
り希望の持てない経済状況が推測されております。おそらく日本経済は再びデフレの波
に飲み込まれ、更に50年後には8,000万人ともいわれる日本の人口減少に伴い、日本経
済の大幅な縮小、場合によっては資本主義の崩壊につながる社会状況に陥る可能性も考
えられないわけではありません。

拡大一辺倒の資本主義社会に別れを告げ、次の日本の経済社会を考えた場合、その基
本となるものは「共存」をテーマとした循環型経済・循環型社会であると思いま
す。地球は1年365日循環しておりますが、その365日を基本として木を植え木を伐採し、
苗を植え稲を刈るといった地球や自然に逆らわない経済社会を打ち立てるのが循環経済
であります。日本の人口8,000万人の人を養える経済社会をよしとして、世界が過剰に
競争・闘争することのない「平和経済」を先駆けることが、平和国家日本の責任ではな
いでしょうか。

木材はまさしく循環商品です。そして現在、日本の経済が少しずつ縮小していくの
に対し、日本の木材、国産木材は着実に拡大・発展を続け、木の文化が少しずつ復活・復
権しつつあります。拡大一辺倒の資本主義社会から循環経済社会へ。拡大を求めるゆえ
に闘争・戦争の絶えない資本主義社会から平和・安全な循環共存社会に。

ここにお集まりの皆様方と共に、木材業の新しい希望、新しい責任を私たちは今後追
求していきたいと思っております。どうぞ今後とも私たちをよろしく応援・指導していただく
ことを希望し、あいさつとさせていただきます。

この挨拶は、10月29日にキャッスルプラザで開催された「名古屋西部木材港開港50周年記念祝賀会」
の開会にあたり嶺木昌行理事長が述べられたものです。

◆ 合縁木縁 ◆

「蓮の花」

昨夏、奈良西ノ京の薬師寺に参詣した際に、鉢植えの蓮の花に魅了されて、今夏は自分でも蓮栽培に挑戦しようと、秘かに思っておりました。園芸などはさほど経験はなかったのですが、現代はネットで大抵のことは調べることができます。そんな無謀なDIY的好奇心で、これまでETCリーダーやナビやバックカメラなども自分で取り付けた経験もあります。逆に語るには恥ずかしいような失敗や挫折も多々ありましたので、家族などは「また始まったか」と冷やかな視線でありました。

3月にネットショップで種を買って、発芽させました。鉢は自宅の庭に転がっていた陶器鉢から選りすぐって、穴アキでしたので穴埋めをして水の漏れない処置をしました。土は田んぼの土が良いとのこと、農家の知り合いに頼んで貰いに走り、GW中に植え替えを終えました。

暫く過ごす住宅街の自宅では日射量不足ということがわかり、会社前南東向き道沿いに鉢を並べたところ、それも解消して立葉が上がってきました。こうなると開花の期待が高まります。6月になると、立葉が水際より力強く立ち上がり、雨が降るとロータス効果と云われる葉の上を水玉がコロコロと滑り落ちる現象に、梅雨の長雨でもウキウキ気分が過ごすことができました。

ここまで来ると、わかる方にはこれが花蓮であることは想像がつくようで、朝の水やり時に、ご近所さんからよく声を掛けられるようになりました。そして私たちの期待に答えてくれたように、今夏3輪の開花に恵まれ、多くの方と一緒に楽しむことができました。

蓮は日の出から数時間しか開かず、開花から4日目に散る儂い花です。初日の初々しさ、2、3日目の眩いばかりの美しさ、4日目の散り際の潔さ、まさに人間の一生の縮図のようで、その3輪それぞれが微妙に同じ進捗ではないところが、まさに人生いろいろのようで、古くから仏教の中で崇め奉られる花である所以だと察しました。

私の今回のチャレンジの収穫は、赴任してまもない私にとって、会釈程度しかしなかったご近所さんとの合縁奇縁ならぬ合縁"花"縁に恵まれたことかもしれません。

これだけ期待されるならば、来年もがんばらねばとじっくり冬越しをして、立派な蓮根を育てて、来夏はさらに多くの花を咲かせたいと考えております。

今回は、日本製紙木材(株) 中日本支店名古屋営業所 脇田 丈士氏にお願いします。

木場すずめ

『100キロウォーク』

10月上旬「100キロウォーク」に参加してきました。三河地方のある企業が社員研修(体験教育)の一環として始め、口コミ等で広がり参加者も増え、今年で23回目、歩者約1,700人の規模の大会です。コースは碧南出発、豊橋駅周辺を折り返し、蒲郡がゴールとなっています。その名の通り約1日かけてひたすらただ100キロを歩く大会です。

私は過去にもこの大会に出場しております。初回参加のきっかけは、同業他社の方が同じような別の100キロウォークに参加された際、60キロ付近でリタイヤをしたというお話を聞き、ちょうどその当時ジョギングをし始めていたこともあって「100キロは確かに長いけどただ歩くだけだから何てことないだろう」と完全に甘い考えのもと参加を致しました。

実際に歩いてみると、40キロ地点までは体の変調も無く普通に歩けます。このままゴールだな、なんて考えていると足の裏に違和感が出てきて、あっという間に500円玉ほどの水膨れが両足裏にできました。とにかく痛いのですが歩くしかないので庇って歩き続けると次は両膝に痛みが出てきて、その次は腰が痛くなり、60キロ付近で休憩のために腰を降ろしたら膝が固まって伸びなくなってしまい、何とか立ち上がったもののそれからは痛みで膝が曲がらず、休憩はコンビニの壁にもたれて休みながら辛うじてゴールという有り様でした。雨の中コンビニ合羽を着て小さなゴールゲートの下で笑みも無く記念写真に写った自分の姿を見ると、初回参加の辛かった思い出がよみがえります。

どうしてこんなに痛くて辛いことが分かっているのにまた参加をしているのだろうと我ながら考えます。歩いている途中では自分で参加しておいてどうして参加してしまったんだろうかと矛盾に自問自答したり、何のために歩いているんだろうとぐだぐだ考えてしまっていますが、終わってしまえば「早く帰ってビールが飲みたいな」と、歩いている時のもやもやがどこかへとんでしまいます。辛いことも終わってしまえば何てことない、そんな気持ちは多少ですが仕事や生活の中にも活かされているのかなど、100キロウォークを振り返って感じました。

お知らせ

☆☆☆ 平成30年度秋季一斉清掃実施のお知らせ ☆☆☆

秋季一斉清掃を実施します。臨海地区の環境美化にご協力ください。

1. 日時

- ・飛鳥地区 平成30年11月16日(金) 9:00~12:00(雨天決行)
- ・弥富地区 平成30年11月20日(火) 9:00~12:00(雨天決行)

2. ゴミの回収方法

- ・飛鳥地区は、午前10時までに飛鳥村ゴミ集積所、正午までに東浜中央緑地駐車場(東側)の臨時集積所に出してください。道路側溝の土砂は、土のう袋に入れて各企業前にまとめてください。後日名古屋港管理組合で回収します。
- ・弥富地区は、午前10時までに弥富市ごみ集積所、正午までに楠広場の臨時集積所に出してください。弥富地区は、土砂の回収はありません。

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

蟹江署管内で店舗等を狙った 侵入盗被害が多発!!

10月中、蟹江警察署管内において、深夜に閉店後の店舗を狙う侵入盗被害が多発しました! 被害店舗の中には貴重品が入ったキャビネットにバーを設置し、被害拡大を防止できた店舗もあります。

店舗や事務所の出入口扉の施錠徹底に加えて、補助錠を設置する、貴重品や商品を保管するキャビネット、ロッカーにはバー等を設置して容易に物色されないようにする等のプラスワン防犯をお願いします。

◆ 広告コーナー

発行 名古屋木材組合
 発行者 西垣洋一
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
 TEL <052> 331-9386
 FAX <052> 322-3376
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
 発行者 嶺木昌行
 〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74
 TEL <0567> 57-2017
 FAX <0567> 57-2018
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会